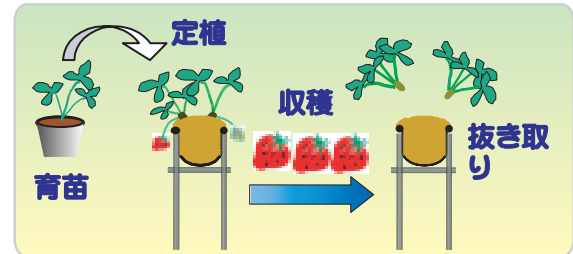


イチゴ「株据置栽培」 生産株の継続利用法

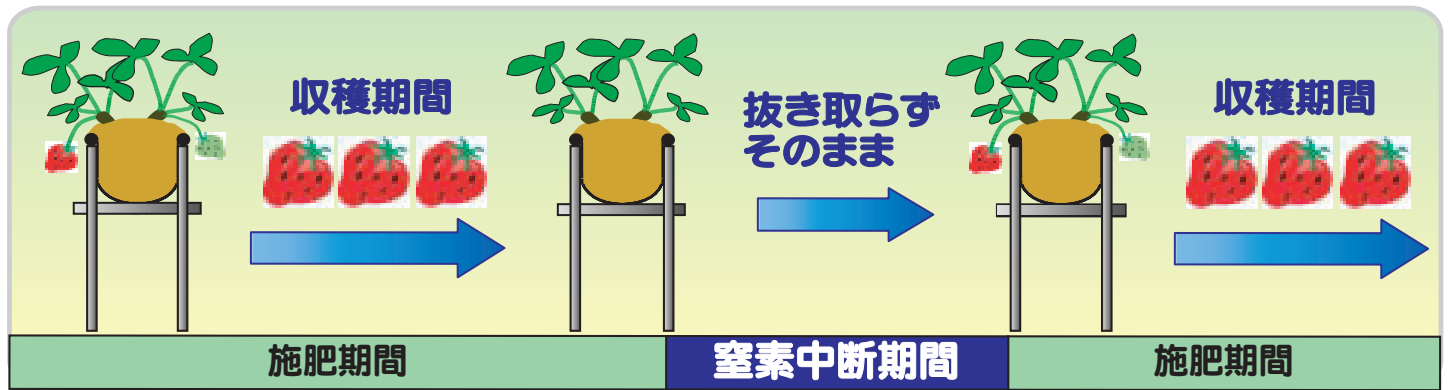
イチゴの収穫終了後に株をそのまま栽培ベッドに据置いて、次作の生産株として継続利用する「株据置栽培」の技術開発を行っています。

開発技術のポイントは…

- ①5月上旬～6月上旬から窒素中断を開始する。
- ②花芽分化を確認したら、施肥を再開する。
- ③窒素中断期間は、ランナー・古葉を適宜除去。



慣行のイチゴ



イチゴ生産株を継続利用する株据置栽培

本技術により…

- ①早期に花芽分化でき、早期収穫が可能となる。
- ②窒素中断期間の作業時間は、慣行栽培の約 1/3 となる。
※慣行栽培では、「株の抜き取り」・「育苗管理」・「定植作業」が必要です。

